

Hyper S-Stage KIT (88cc) 取扱説明書

このキットはノーマルのシリンダーヘッドを使用し、88ccにボアアップ出来るキットです。シリンダーはセラミックメッキシリンダーを採用。ピストンにはMo(モリブデン)コートを施しています。
また、オイル取り出しが可能なボスが付いており、シリンダーのオイルラインよりオイルの取り出しが可能です。

商品番号 01055010 (ボス付き)
Monkey (F.I.): AB27 1900001 ~

- このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- 取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

おことわり

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

⚠ 使用燃料についてのご注意 ⚠

S Stage kitは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンに入れ替えて下さい。

⚠ スパークプラグについてのご注意 ⚠

スパークプラグは必ずCR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。

⚠ 急発進・急加速についてのご注意 ⚠

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

⚠ F.I. コントローラーについての注意 ⚠

S Stage kitのみで使用されるとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずF.I. コントローラーをご使用下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所もしくは市税事務所で原付2種への変更(注:登録手順は各市町村により異なり、当説明書が必要な場合があります。)を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としてあります。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

この取扱説明書に記載の作業はMonkey (F.I.)車両を主体としてあります。

燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

プローバイガス還元タイプの為、エンジンオイルなどによりフィルターが目詰まりし易いので、約1000km走行毎に点検を行い、目詰まりした場合はフィルターを洗浄もしくは交換して下さい。

そのまま使用された場合、性能低下につながりますのでご注意下さい。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行って下さい。(火傷の原因となります。)

・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

・シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。

・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

Lesson

ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。

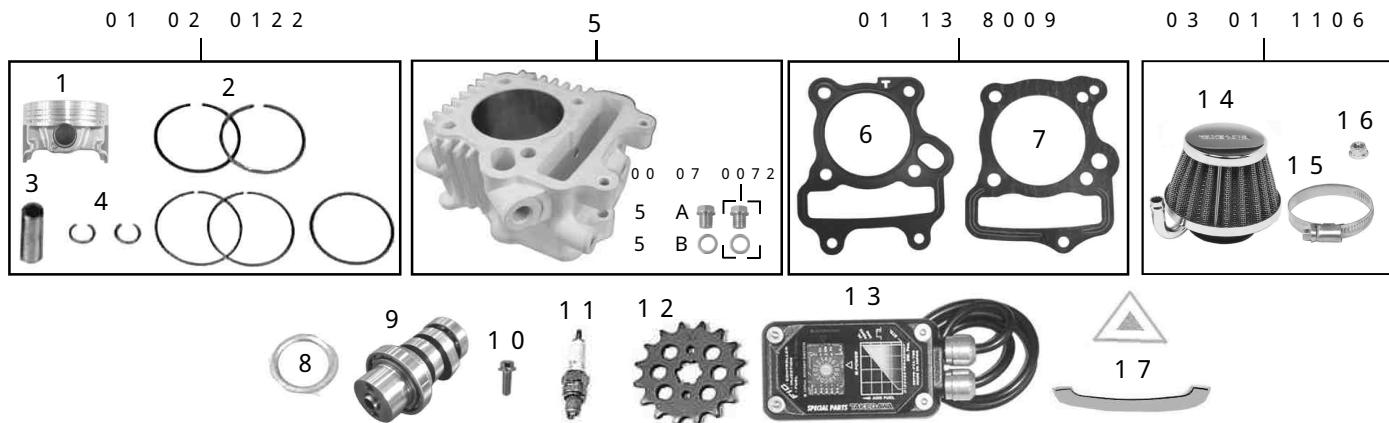
ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めましょう。1~2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。

ネジを緩めていることは、締まっている状態から左へ3~4回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。

ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。この説明書ではP.L法(製造物責任法)によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみて下さい。但し、弊社では責任は負いません。トルクレンチが無くともどれくらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自己自身の経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

キット内容

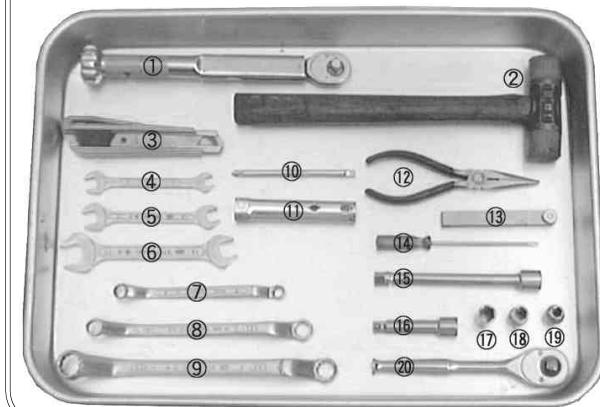


番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン (M o コーティング)	1	13101 GBJ T00	1
2	ピストンリング	1	13011 181 T10	1
3	ピストンピン	1	13111 GEF T01	1
4	ピストンピンサークリップ	2	00010003	6
5	シリンダーASSY.	1	12100 GBJ T01	1
5 A	オイルプラグボルト	2	90145 GEY T00	1
5 B	シーリングワッシャ 10mm	2	00070010	10
6	シリンダーヘッドガスケット	1	01138009	1 set
7	シリンダーガスケット	1		
8	エキゾーストパイプガスケット	1	00010064	2
9	カムシャフト	1	01080332	1
10	フランジボルト 6×25	1	00000115	5
11	スパークプラグ	1	NGK CR8HSA	1
12	ドライブスプロケット (プレート付) 16T	1	0205051	1
13	F Iコントローラー (S Stage用)	1	03050019	1
14	エアフィルター COMP.	1		
15	クランプバンド	1	00000014	1
16	フランジナット M6	1	00000091	6
17	原付2種マークセット	1		

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

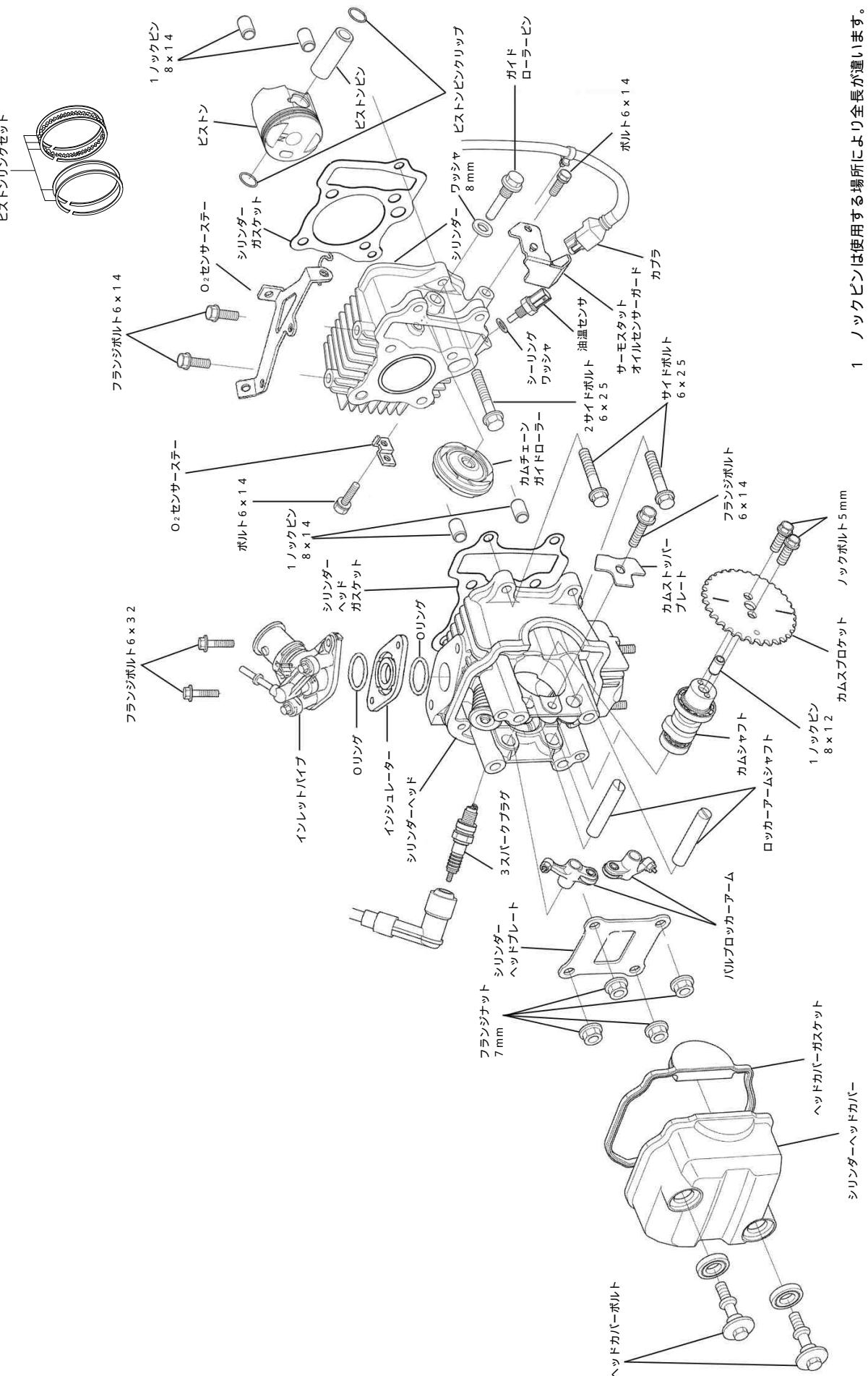
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さい様お願い致します。

取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ	11	プラグレンチ (車載工具)
2	プラスチックハンマー	12	ラジオベンチ
3	カッターナイフ	13	シックネスゲージ
4	スパナ 8 10	14	マイナスドライバー (極細先)
5	スパナ 12 14	15	ジョイント (中)
6	スパナ 14 17	16	ジョイント (小)
7	メガネレンチ 8 10	17	ボックスレンチ 14mm
8	メガネレンチ 12 14	18	ボックスレンチ 12mm
9	メガネレンチ 14 17	19	ボックスレンチ 10mm
10	プラグレンチハンドル (車載工具)	20	ラチェットレンチ

各部品名称



1 ノックピンは使用する場所により全長が違います。

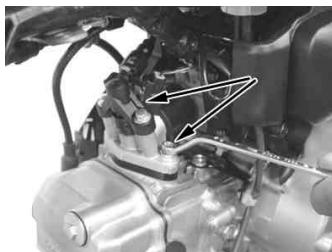
ご注意下さい。

このドット一では支用じみをん。付属している部品をご使用下さい。

3 C R H S A (N G K) 又は U 2 4 F S R U
(D E N S O) に必ず交換して下さい。

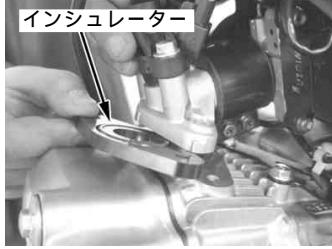
S T D 部品取り外し

1. インレットパイプを取り外す



シリンダーへッドとインレットパイプを止めているボルト2本を反時計方向に回し取り外す。取り外した後、インシュレーターを取り外す。

使用工具
8 mmメガネレンチ



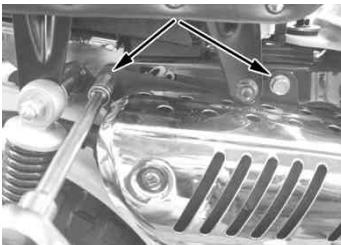
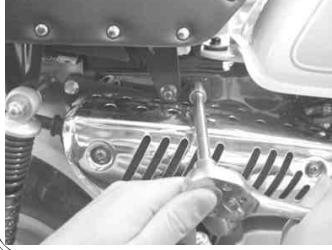
2. O₂センサーステーを取り外す



シリンダーにあるO₂センサーステーを取り外す。
使用工具
10 mmメガネレンチ



E Xパイプ部のナット2個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
10 mmメガネレンチ



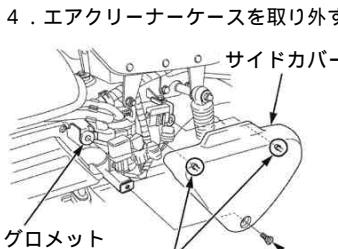
マフラー本体を止めている6角ボルト2ヶ所を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
ラチェットレンチ
ジョイント(中)
12 mmボックスレンチ&ショートジョイント

シリンダーへッドカバーを取り外す



マフラーを外側に引く様にして車体から取り外す。このとき、リング状のマフラーガスケットを無くさないように注意する。

4. エアクリーナーケースを取り外す

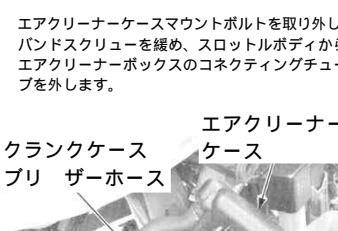


スクリューを外し、サイドカバーを取り外します。

マウントボルト バンドスクリュー



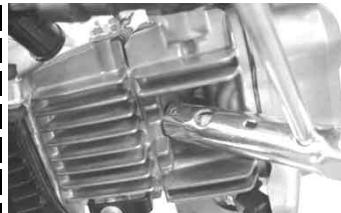
5. スパークプラグを取り外す



エアクリーナーケースマウントボルトを取り外し、バンドスクリューを緩め、スロットルボディからエアクリーナーボックスのコネクティングチューブを外します。

エアクリーナーケースを進行方向に対して車両左側に引き出し、クランクケースブリーザーホースの接続を外します。(純正のホースは再利用します。)

6. シリンダーへッドカバーを取り外す



プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外す事。
車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

シリンダーへッドカバーの6角ボルトを外し、カバーを外す。

使用工具
10 mmボックスレンチ

シリンダーへッドカバーを取り外す



シリンダーへッドカバーの6角ボルトを外し、カバーを外す。

使用工具
10 mmボックスレンチ

シリンダーへッドカバーを取り外す



A、Bの2つを反時計回りに回して外します。

使用工具
マイナスドライバー

シリンダーへッドサイドボルトを取り外す



タイミングマーク

フライホイールのTマークとカムスプロケットのOマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーへッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



フライホイールを固定しカムスプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
8 mmメガネレンチ
14 mmボックスレンチ&中ロングジョイント(フライホイール固定用)



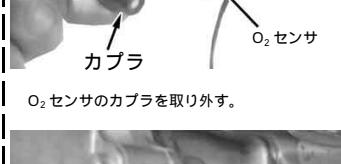
カムスプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。

カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。



シリンダーへッドサイドボルトを取り外す。

使用工具
8 mmメガネレンチ



O₂センサのカブラを取り外す。



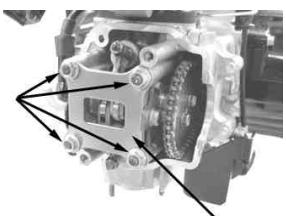
ガイドローラーボルト

サイドボルト

シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。

使用工具
8 mmスパナレンチ&10 mmメガネレンチ

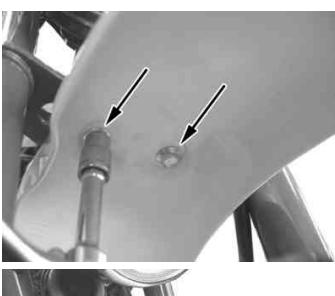
10. プレートを取り外す



シリンドーヘッドプレート

シリンドーヘッドを止めているナット4個を対角に数回に分けて反時計方向へ回し取り外す。
シリンドーヘッドプレートを取り外す。
使用工具
10mmメガネレンチ

11. シリンドーヘッドを取り外す



油温センサ
カプラ

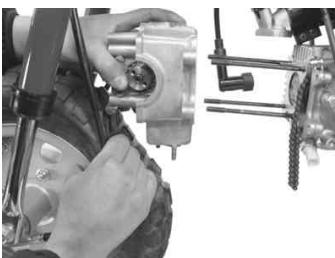
油温センサのカプラを外し、油温センサを取り外す。
使用工具
17mmスパナレンチ



シリンドーを取り抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。

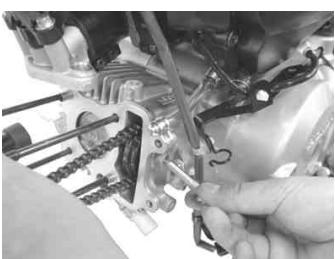


フロントフェンダーを取り外す。



タイヤの空気を抜いて、タイヤを写真の様に押しながら、シリンドーヘッドをシリンドーから前方へ引っ張って取り外す。かたい場合はシリンドーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)
ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。

12. シリンドーを取り外す



締めておいたガイドローラーボルトとシリンドーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。

13. ピストンを取り外す



クランクケースのシリンドーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



ピストンピンサークリップ

ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。

使用工具
先の細いマイナスドライバー



ピストンピンをピストンピンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンピンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。

S - Stage K I T

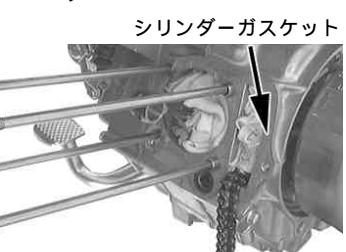
取り付け

1. ピストンを組み付ける



ピストンを取り外す。

14. シリンドーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

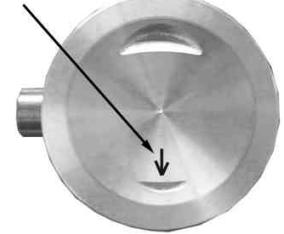


ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイバー やカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンドー合わせ面にはみ出ている場合は切り取っておく。

△クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。

ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける。

エキゾーストマーク



ドライバーでピストンにキズを付けないように押しほむと比較的簡単に取り付けられます。
ピストンピンサークリップは左側を先にはめ込みます。

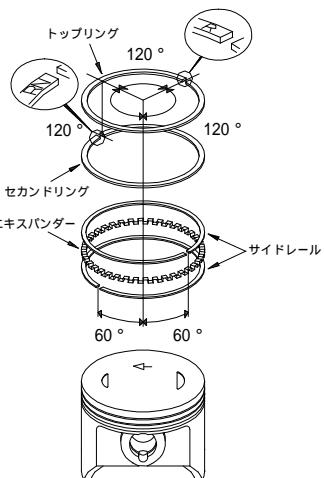
使用工具
先の細いマイナスドライバー

修 正 要 領

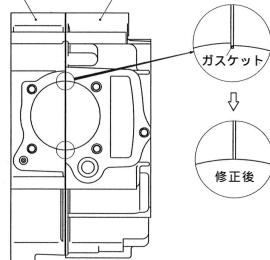
ここでは下の図の様にクランクケースの段差を無くす修正作業を行います。

1. クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
2. クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
3. 削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
4. ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
5. キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればOK。

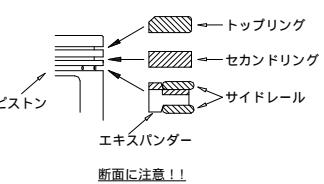
ピストンリングの合い口を合わせる。



右クランクケース 左クランクケース



トップリングの上面にはRの刻印セカンドリングの上面にはRNの刻印があります。



断面に注意!!

リング溝にエンジンオイルを塗布する。



エキスパンダーを入れる。



下サイドレールを入れる。



上サイドレールを入れる。



セカンドリングを入れる。



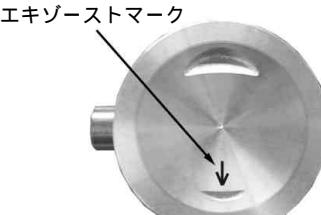
トップリングを入れる。



ピンボス部にエンジンオイルを塗布する。



コンロッドのピストンピン部にオイルを塗る。



エキゾーストマーク
ピストンヘッド部矢印マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。



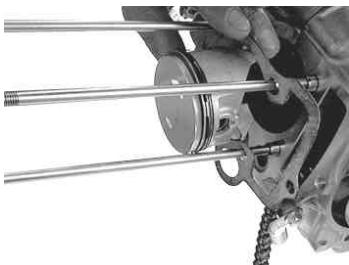
コンロッドとピストンにピストンピンを通す。
付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。



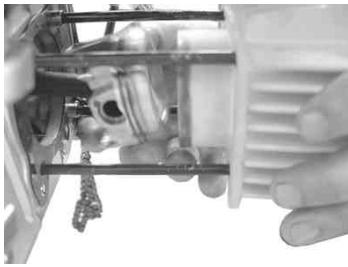
ラジオベンチでピストンにキズを付けないように取り付ける。
サークリップの合い口は、切り欠き部を避けて取り付てる。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行う。
▲目に入らぬように防護めがねなどを着用して下さい。
作業が完成すれば、詰めていたウエスを取り外す。

2. シリンダーの取り付け

シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



シリンダーを入れていく。



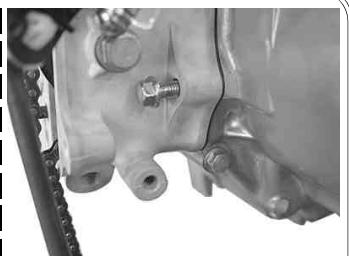
シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にしながら指で押し少しづつはめる。



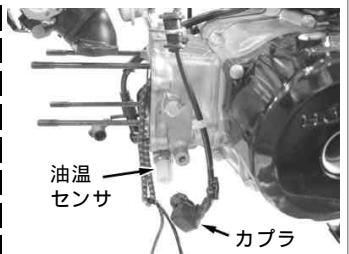
リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。
シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。

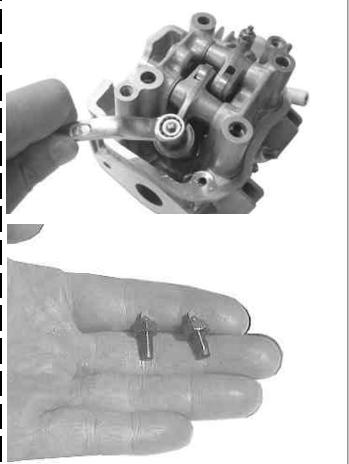


キット付属のフランジボルトM 6 × 2.5を取り付ける。
(指で締まる程度まで仮止め)



油温センサ
カプラ

3. カムシャフト交換



シリンダーへッドに組み込まれているロッカーアームのタベットアジャスティングナットを緩め、タベットアジャスティングスクリューを反時計回りに回してタベットアジャスティングナットとタベットアジャスティングスクリューと一緒に外す。

使用工具
9 mmメガネレンチ



ストッパー ブレート

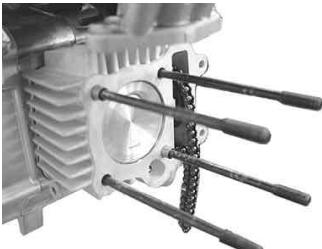
ストッパー ブレートを取り外す。



ノーマルのカムシャフトを外し、キット内のカムシャフトを取り外しと逆の手順で取り付け
る。
カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。
ノーマルカムに付いていたノックピンをキットのカムに取り付ける。
ストップバープレートボルト
 $1.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.2 \text{ kg f} \cdot \text{m}$)

4. シリンダーへッド取り付け

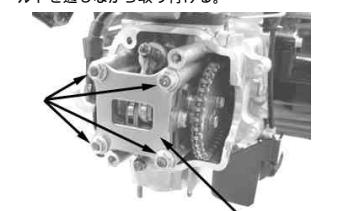
シリンダーへッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



シリンダーにノックピンを取り付けヘッドガスケットを取り付ける。



シリンダーへッドをカムチェーンとスタッドボルトを通して取り付ける。

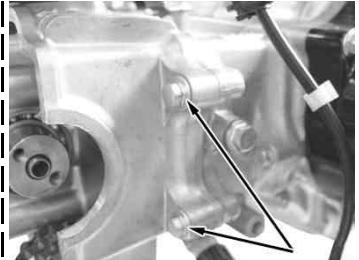


シリンダーへッドプレート

シリンダーへッドプレートを組み付け、ヘッドナットを均等に締め付ける。

締め付けトルク $1.4 \text{ N} \cdot \text{m}$
($1.4 \text{ kg f} \cdot \text{m}$)

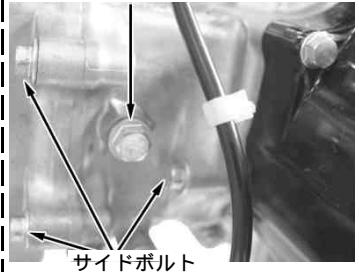
使用工具
10 mmボックスレンチ



ヘッドサイドボルトを取り付け。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

使用工具
8 mmスパナレンチ
10 mmメガネレンチ

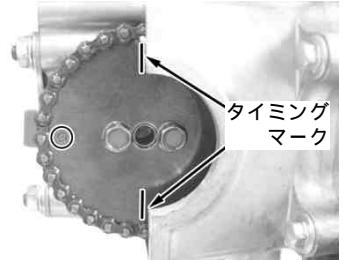
ガイドローラーボルト



締め付けトルク

ガイドローラーボルト
 $1.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kg f} \cdot \text{m}$)
サイドボルト上下
 $1.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kg f} \cdot \text{m}$)

使用工具
8 mm、10 mmボックスレンチ



カムスプロケットの‘O’マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッドカバー合わせ面に合わせ、各切り欠き部が合う様にカムチェーンをかけ、カムシャフトに取り付ける。



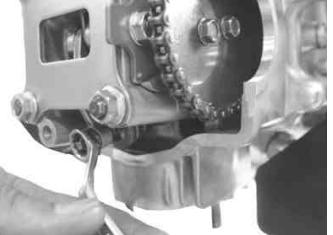
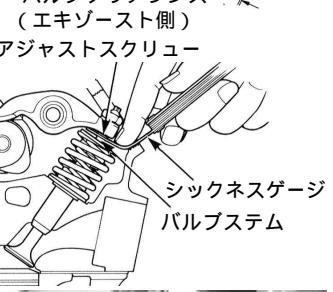
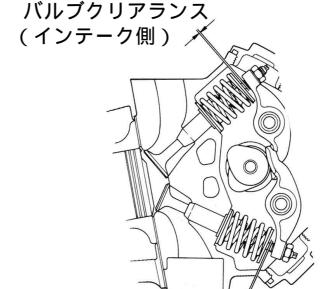
フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを2本締め付ける。

締め付けトルク $9 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($0.9 \text{ kg f} \cdot \text{m}$)

使用工具

8 mmボックスレンチ

14 mmボックスレンチ & 中ロングジョイント



ロッカーアームのタベットアジャスティングクリューを締め込んでタベットアジャスティングクリューとバルブシステムエンドの間にシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタベットアジャスティングナットを締め付ける。

I N側 0.10 mm

E X側 0.12 mm

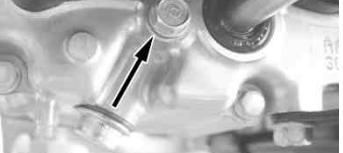
使用工具

ラジオベンチ、9 mmメガネレンチ

シックネスゲージ
14 mmボックスレンチ & 中ロングジョイントでクランクを合わせる。

タベット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転した後でTマークとOマークタイミングマークを合わせる。

タベットすぎ間が変化していないか点検し、すぎ間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。



エンジンペダルシャフトの横に先程外したボルトを取り付け、締め付ける。

締め付けトルク $1.0 \text{ N} \cdot \text{m}$

($1.0 \text{ kg f} \cdot \text{m}$)

使用工具

10 mmボックスレンチ & 中ロングジョイント

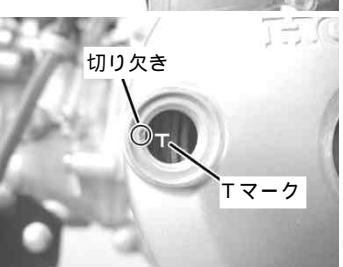


6. バルブタイミング調整とタベット隙間の調整



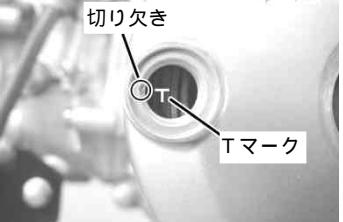
フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、ピストンを圧縮上死点に合わせる。

カムスプロケットボルト穴をシリンダーへッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にかむシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。

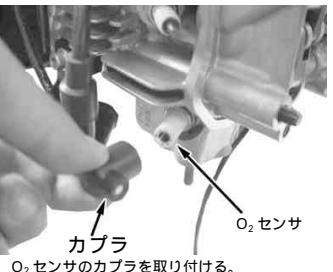


少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

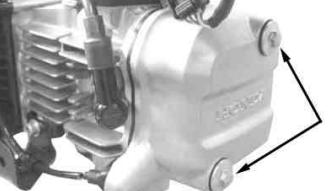
エンジンペダルシャフトの横にある6角ボルトを取り外す。カムチェーンテンションナーが緩むのでカムチェーンが取り付け易くなります。



クランクシャフトを時計回りに2回転し、フライホイールのTマークとケースの切り欠き部とタイミングスプロケットマークが前方を向いた状態で合わせマークが合っているかを確認する。



O₂センサ
O₂センサのカプラを取り付ける。



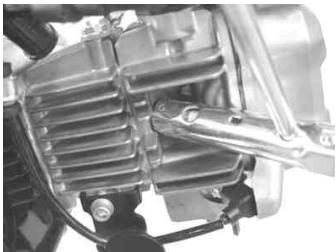
7. シリンダーへッドカバー取り付け
シリンダーへッドカバーとガスケットを取り付ける。

締め付けトルク $1.2 \text{ N} \cdot \text{m}$

($1.2 \text{ kg f} \cdot \text{m}$)

使用工具
10 mmボックスレンチ

8. スパークプラグの取り付け



車載工具がプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
締め付けトルク $16 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.6 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)

使用工具
プラグレンチ
プラグキャップをプラグに取り付ける。

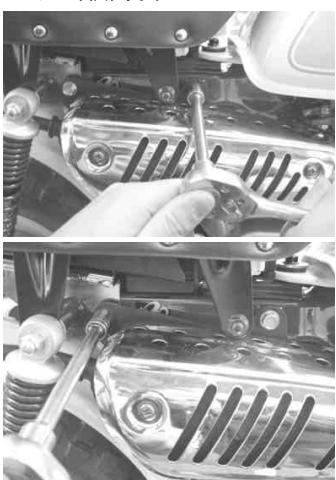
9. ノーマルマフラーの取り付け



マフラーを取り付ける。
マフラーガスケットをシリンダーヘッドとマフラーの間に挟み込む様に入れる。マフラー本体をビボットシャフトに取り付ける。マフラー本体を止めるナットを締める。(指で締まる程度に仮止め)



EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)
使用工具
10mmスパナレンチ



フランジ部と車体を止めるナットを締め付ける。
締め付けトルク：
フランジ部 $10 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)
本体部 $20 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($2.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)
使用工具
12mmボックスレンチ

10. インレットパイプの取り付け



O₂センサーステーを取り付ける。
締め付けトルク $10 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)

使用工具
10mmボックスレンチ

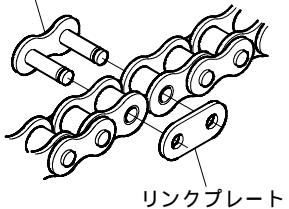
インシュレーター



エアフィルターCOMPのラバーにクランプバンドを通してから、純正スロットルボディに取り付けます。

この時、TAKE GAWAロゴが水平になる様にして下さい。
純正のクランクケースブリザーホースを、エアフィルターCOMPのユニオンに差し込みます。
必要に応じて、適宜ホースを切断して下さい。
エアフィルターCOMPのクランプバンドを締め付け、エアフィルターを固定します。
サイドカバーを組み付けます。

マスターリンク



リンクプレート

リンクプレートとマスターリンクを取り外し、ドライブチェーンを取り外す。
作業の際は必ずエンジンを停止すること。



ボルト2本を取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
ショートジョイント



プレートを取り外す。



ノーマルのスプロケットをシャフトから抜き、チェーンを取り外す。



キットのスプロケットをシャフトに差し込む。



キットのプレートを取り付け、ボルト2本を仮止めする。

リアアクスルナット、チェーンアジャスターのナットを緩めておく。

マスターリンクを内側から取り付けてドライブチェーンを接続し、リンクプレートを取り付ける。

シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り付ける。

締め付けトルク $10 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)

使用工具
8mmボックスレンチ

11. エアフィルターの取り付け



純正エアクリーナーボックスが固定されていたステーの裏側に、キット付属のフランジナットM6を取り付け、イグニッションコイルスティーを純正のマウントボルトで固定します。
規定トルク : $10 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)

12. ホールキャップの取り付け



A、Bの2つを取り付け、締め付けます。

締め付けトルク

A $1.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($0.15 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)

B $3 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($0.3 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)

使用工具
マイナスドライバー

チェンジペダルを取り付ける。

締め付けトルク $10 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)

使用工具
10mmボックスレンチ

エンジンやマフラー、インレットパイプ等、今まで付けたボルト類に緩みが無いか確認する。

13. ドライブ(エンジン側)スプロケットの取り付け



車両をレーシングスタンド等を使用して、確実に支え、ステップバーL クランクケースカバーを取り外す。

ドライブスプロケットカバー、チェーンカバー、ステップを取り外す。



ドライブチェーンのクリップを取り外す。

クリップ

ドライブチェーンのクリップを取り外す。

クリップ



クリップを取り付けます。
この時、クリップの合い口は進行方向に対して逆に向けること。



仮止めしていたドライブスプロケットのボルトを本締めする。
締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)

使用工具
ボックスレンチ 10 mm
ショートジョイント

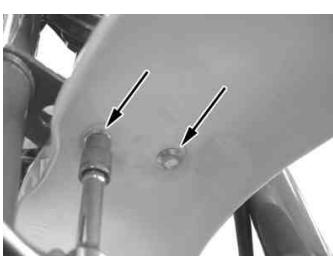
取り外したL クランクケースカバー(1)
ステップバーを取り付ける。
1:L クランクケースカバーに付いているノックピンの付け忘れ、カブラーの付け忘れに注意する事。

ドライブチェーンの調整を行う。

14. FI コントローラーの取り付け

FI コントローラーの取り付け要領に従い、コントローラーを取り付ける。

15. フロントフェンダーの取り付け



フロントフェンダーを取り付ける。
締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)

使用工具
10 mmボックスレンチ&ショートジョイント

ご走行前に

1 お願い

一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所もしくは市税事務所で原付2種への変更(注:登録手順は各市町村により異なる恐れがあります)を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険及び任意保険の排気量変更の申請を行って下さい。

原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

2 使用燃料について

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンに入れ替えて下さい。

3 取り付け必要品として

本キットを取り付け走行する際には以下の部品が取り付け必要です。取り付けていない場合、保証の対象にはなりません。

3.1 オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し各部の冷却や負担を軽減するスーパー油圧ポンプの装着は必要です。

必須スーパー油圧ポンプ

品番: 01 16 0051

3.2 クラッチ

ノーマルクラッチでは十分な対応が出来ず、滑りが生じエンジン出力をドライブ側に十分伝えることが出来ません。強化クラッチの装着は必要となります。

品番: 02 01 0202(一次減速比変更なし)

: 02 01 0214(一次減速比を16/69 18/67へ)

4 スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではロギアすぎて扱いにくい状態になります。また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ/ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギヤ化を各自で行って下さい。

スプロケットはキット内に含まれておらず。

スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。

ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。レーシングスタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S ステージ 推奨スプロケット(体重65kg時)

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット(フロント)	ドリブンスプロケット(リア)
Monkey (FI)	8インチ	マニュアル	4速	16	23
		強化スペシャル	4速	16	25
	10インチ	マニュアル	4速	16	25
		強化スペシャル	4速	16	28

ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすことが出来ない、またはリンク数が足りなくなる場合があります。

チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。

強化スペシャルは、当社製スペシャルクラッチ及び上記に示す02 01 0214(一次減速比を16/69 18/67へ変更するタイプ)の事を示します。

FI コントローラーの設定

エンジン仕様	FI コン設定
エアフィルターキット + ノーマルマフラー	7
エアフィルターキット + 当社製 Zスタイルマフラー	B
エアフィルターキット + 当社製 ベーシックマフラー	B

FI コントローラーについて

必ずFI コントローラーを取り付けてからエンジンを始動して下さい。FI コントローラーを取り付けずに使用されますと空燃比が非常に薄くなりエンジンが重大な故障を起こす恐れがあります。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

T E L 0721 25 1357

F A X 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

U R L <http://www.takegawa.co.jp>